



# SEIG

# LIB-NEWS

2019年12月5日発行

聖学院中学校高等学校

図書委員会

## 台風19号被害 募金活動の報告

10月から図書館カウンターに設置した募金箱と、11月16日(土)に行った雑誌即売会での売り上げを加えた結果、¥23,909.-が集まりました。

収益は、生徒会が、東日本大震災被災地で支援活動を行い、台風19号被災地でも活動を行っている『シャンティ』に寄付しました。

図書館では沖縄・首里城再建のための募金箱をカウンターに設置しています。

引き続き、ご協力ください！！

振替払込請求書兼受領証

口座番号	00100-7
支店	559298
加入者名	公益法人やろ国際祭実行委
金額	千 百 十 万 千 百 十 四 23909
おなま	聖学院中学校高等学校
依頼人	種
日 附 印	01-11-21 中里郵便局
料 金	0
備 考	免除

記載事項を訂正した場合は、その欄所に訂正印を押してください。

この受領証は、



## 12月・1月の図書館

- 冬休み貸出 はじめます！
  - 貸出冊数の上限が10冊になります。
  - 期間は、12月5日(木)～24日(火)です。
  - 返却期限は1月8日(水)です。
  - 延滞している生徒には本を貸せません。
  - 大学入試過去問題集や受験・学習参考書などは、通常通り、1週間・5冊までです。
- 期末考査期間から、短縮開館になります。
  - 開館時間が変わるので、時間に注意して図書館を利用してください。

### 開館カレンダー 12月

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7 期末考査 7:30-14:30
8	9 期末考査 7:30-14:30	10 期末考査	11 期末考査	12	13	14
15	16	17	18 終業式	19 Winter セミナー	20 Winter セミナー	21
22	23 Winter セミナー 8:00-17:00	24	25	26	27	28
29	30	31				

### 開館カレンダー 1月

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8 始業式	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	

57 理科I先生 → 58 国語科U先生 → 59 数学科H先生 → 情報科I先生 → 61 理科I先生 → 62 英語科N先生 → 63 美術科I先生 → 64 英語科H先生 → 65 理科I先生 → 66 数学科K先生 → 67 理科S先生 → 68 技術科T先生 → 69 英語科S先生 → 70 英語科H先生 → 71 英語科I先生 → 72 数学科S先生 → 73 音楽科H先生 → 74 社会科I先生 → 75 英語科H先生 → 76 英語科I先生 → 77 英語科I先生 → 78 事務科K先生 → 79 英語科K先生 → 80 英語科I先生 → 81 英語科I先生 → 82 英語科I先生 → 83 英語科I先生 → 84 英語科I先生 → 85 英語科I先生 → 86 英語科I先生 → 87 英語科I先生 → 88 事務科T先生 → 89 英語科K先生 → 90 英語科I先生 → 91 英語科I先生 → 92 英語科I先生 → 93 英語科I先生 → 94 英語科I先生 → 95 英語科I先生 → 96 英語科I先生 → 97 英語科I先生 → 98 英語科I先生 → 99 英語科I先生 → 100 英語科I先生

◎先生方のリレーエッセイ◎ 第74回

養護教諭 秋田 知子 先生

本といえば・・・

私が本と聞いてすぐに思い出すのは、中学校の同級生のKちゃんのことです。Kちゃんに出会って初めて、「『本の虫』ってこういう人のことを言うのだ!!」と思ったのでした。

私は中学生の時、親元を離れて全寮制(当時)の学校に通っていました。寮生活は分刻み、下手すると秒刻みのスケジュールで、今思い出しても笑っちゃうほど管理された集団生活。ひと部屋に1~3年生混合の8人部屋で、Kちゃんは入寮した時、最初に同じお部屋になった同級生でした。そんな寮生活の中でもKちゃんは、時間があればいつも本を読んでいました。話しかけないと話さないおとなしい人で、私が「なに読んでるの?」と聞くと、「ナイショ」と言って読んでいた本を隠してしまうような…。でも、確かKちゃんが読んでいたのは歴史小説とか外国人作家の本だった記憶があります。

一方、私はといえば、闘病記や「〇〇事件の真相!」などのノンフィクションを選んで読むような小学生で、母に「もうちょっと楽しそうな物語とか読んだら?」と少し心配そうに言われていました。あとは「なかよし」(漫画です)の定期購読者だったくらいかな。

そんな私が中学生になって、本の虫Kちゃんを毎日見ているうちに、ちょっと「小説」ってのを読んでみようかな?と思い、とりあえず、当時流行っていた星新一や筒井康隆といった作家の本を読んでみたのでした。読んでみるととても面白くて、同じ作家の本を片っ端から読んだのを覚えています。その頃が多分、私が人生で一番本を読んだ時期でした。Kちゃんみたいな「本の虫」にはとてもなれませんでしたけど。

そして今は…あまり本を読んでいません。読書は優先順位がどうしても下になってしまいます。その言い訳が、最近読んだ「名もなき家事」(サンマーク出版)という本にぎっしりと書かれていました。私がどうして本が読めないのかということ、スカッとするほど代弁してくれています。普段、家事を担っている方や子育て中の方はもちろん、「家事はお任せ!」と言う方には特に一読をおススメします! 家庭にやさしいそよ風が吹くかもしれません。

ちなみに。かつて私に「小説読んでみようかな」と思わせたKちゃんの近況を、連絡の取れる同級生に聞いてみたところ…「女子の中で一番若くしてお嫁に行ったわよ。牧場へ。」とのこと。えええ!! 牧場?? き、気になる～。

余談よだん

「本の虫」あるいは「愛書家」と呼ばれる人は、時に驚くほどの大量の本を収集していることがあります。ジャーナリストの立花隆氏は、自分の蔵書を納めるためにビルを建設しました。その所蔵冊数なんと20万冊!(推計) 「立花隆の書棚」という本で、どんな本を所蔵しているのか解説していますが、総ページ数650ページという大著です。読み応えがあって、面白いですよ。